

# 「話す・聞く」ことを身に付けさせる授業改善

～必要な情報を読み取り、よさと問題点を整理し、自分の考えをまとめるための指導法～

平和中学校 研推 村田 智

## 1 授業改善の視点

授業振り返り表より  
・多くの生徒の発言

## 2 具体的な実践

### 1 年国語科「論点をとらえる」

#### 「バズセッションをしよう」

#### (1) 自分の考えを確実にもたせる

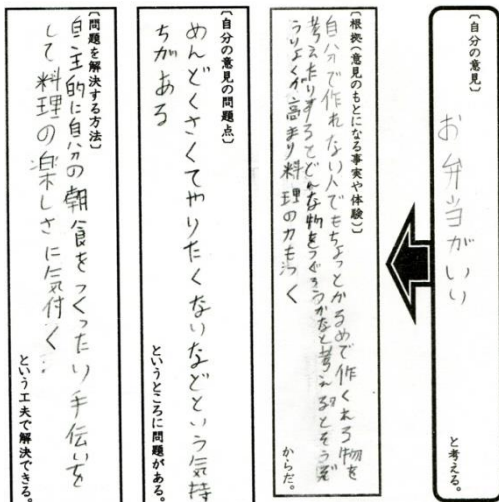
大事にしたいことは、根拠をもとに話すことである。よって、話し合うテーマに対して、根拠をもって自分の考えがもてるよう、以下の項目を設定した。

- ①自分の立場
- ②根拠（意見のもとになる事実や体験）
- ③自分の意見の問題点
- ④問題を解決する方法

実態として根拠もなく、「それにはとにかく反対」「嫌いだから」と自分の思い通りにならないから嫌であることを前面に出した意見を述べるがあった。

特に「自分の立場」と「根拠」を考えさせることで、確固とした意見をもたせるだけでなく、話し合いの中で、相手の考えを理解することの参考にしたり、新たな考えを生み出したりするための土台となった。

生徒のプリント



#### (2) 必要な情報を確実に聞きとらせる

大事にしたいことは、テーマにそった必要な情報を聞きとらせることである。そのためには、「何となく聞いた」ではなく、「確実に聞いた」と実感させたい。その具現のために、以下の手立てを考え実践した。

- ①聞くときは一切の作業を止める
- ②聞いたことを項目ごとに書き分ける
- ③聞きもらしがないか確認してもう一度話す
- ④聞き手は書き分けたメモを見ながら内容を確認したり、聞きもらした個所を書いたりする

この実践で、誰もが相手の意見の内容を確実に聞きとることができた。そしてこの後の話し合いでは、お互いの意見のよさや問題点などを踏まえて、よりよい考えを生み出そうとする活発な話し合いとなった。



話の内容を確認する場

## 3 実践を振り返って考えられること

「考えをもつこと」「必要な情報を確実に聞き取ること」は、国語科だけでなくどの教科でも学力を付ける上で必要なことなので、他教科とも連携して実践していくことが必要である。